

「桜洲小学校の桜島小池島廻り踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	鹿児島市立桜洲小学校
2. 学年・人数	5・6年生（計21人）
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年5月 総合的な学習の時間（本校体育館・運動場） (2) 発表の日時・場所 令和6年5月26日（日）桜洲小学校運動会（本校運動場）
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 桜島小池島廻り踊り（さくらじまこいけしまわりおどり） (2) 由来 今から約100年以上前、島津光久公の時代、桜島では、地域ごとに小さい舟を使って桜島の周りを一周する「島廻り競争」が行われていた。 大正3年の爆発後、島廻り競争は、区間ごとに行われ、その競争を応援するために、小池浜で踊っていたのが「小池島廻り踊り」である。平成17年には、鹿児島市の無形民俗文化財に指定された。 (3) 構成等 踊り連は、円形になり、保存会のお囃子に合わせて小舟の櫓を漕ぐ様子や雄大な桜島や錦江湾を形取った様子を表現して踊る。 現在は、発表会場の広さや参加人数に応じて、隊形を変えながら踊っている。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	毎年5月の桜洲小学校運動会において、この「小池島廻り踊り」を伝承・披露するため、小池島廻り保存会の方々に、児童への細かい指導をお願いしている。保存会の方々が伝承している踊りを、子供たちが踊りやすいように、また、歌に合うように一部簡素化している。
6. 取組の様子 （練習状況、発表の場等）	 【練習での様子】  【桜洲小運動会での発表】
7. 感想・意見 （参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	・ 大勢の観客の前で踊るのは、恥ずかしかったけど、最後まで間違えずに踊ることができてよかった。 ・ 郷土に伝わる桜島小池島廻り踊りを小学生と保存会と一緒に練習し、地域住民の前で踊ることができ、ありがたく感じている。卒業しても、この伝統芸能を受け継ぎ、地域に誇りをもって生きる子供たちに成長してくれることを願っている。 ・ 子供たちが、しっかりと伝統芸能を受け継いでいる姿を見て、頼もしく感じた。 ・ 地域・桜島のことを更に好きになり、大切にしていこうとする郷土愛につながっていると思う。